

令和7年度 県立宮古総合実業高等学校学校評価(自己評価)

各項目は、今年度、設定された「学校グランドデザイン」において、「育てたい人間像」を実現するための「具体的な取組」をもとに設定されています。一年間の本校の教育活動を通して、具体的な取組の自己評価をお願いします。

※評価は学校として達成できているかどうかの視点で回答して下さい。

A:達成できた B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できていない

56名

評価項目	具体的な取組	実施状況	総評価	評価			
				A	B	C	D
(1)教育目標	○地域貢献できる人材の育成 ○主体的に進路選択できる能力の育成	1 本校は「目指す生徒像」及びその実現のための方針をきちんと生徒に伝えている(グラデュエーションポリシー)	B	19	32	5	0
		2 学校経営目標の達成に向け、PDCAサイクルを意識した組織的な取り組みが行われている	B	16	37	3	0
(2)職員研修を推進し、教育的実践を通して諸課題の解決を図る	○職員研修の充実 ○多様な学びの評価 ○授業力・指導力の向上(ICT活用・主体的な学び)	3 研修で得た知見(生徒理解、指導方法、ICT活用など)を、実際の授業や校務運営に反映させるなど、具体的な改善に繋げることができる。	B	27	29	0	0
		4 学年や分掌、教科内で、教育課題の解決に向けた情報共有や円滑に行われている。	B	25	30	1	0
		5 ICT機器(タブレット・電子黒板等)を効果的に活用し、視覚的で分かりやすい授業、または生徒が協働して学ぶ場面を作ることができている。	B	24	28	4	0
		6 相互参観や研究授業、あるいは日常的な授業見学を通じて、他の教員と指導方法について意見交換を行っている	B	18	35	3	0
(3)多様な在り方の研究を推進し、生徒の居場所作りに取り組む	○多様な背景を持つ生徒への理解と配慮 ○安心感を生む環境構成(物理的・心理的な居場所) ○自己肯定感を育む関係性(存在承認とエンパワメント)	7 多様な特性や困難を抱える生徒の背景について、教育相談係やスクールカウンセラー等と連携した支援体制ができている。	A	29	25	2	0
		8 登校しづらい生徒や別室登校の生徒に対し、タブレットの活用や別室での学習支援など、学びを継続できる環境づくりが行われている。	B	23	25	7	1
		9 授業や資格指導、部活動等において、生徒の「小さな成功」や「努力のプロセス」を認め、ポジティブな言葉かけ(フィードバック)が行われている。	A	31	23	2	0
(4)「特別支援教育の視点で授業のユニバーサル化」について	○情報の提示方法(視覚的配慮) ○説明の工夫(言語的・聴覚的配慮) ○見通しと環境(構造的配慮) ○学習環境の整備教育目標に沿った計画・立案	10 学習目標(めあて)と学習活動の見通しを、授業の導入部で提示し、生徒が「何をすべきか」を常に把握できる状況を作っている	B	21	33	2	0
		11 板書の工夫(チョークの色分けルール化など)、情報の焦点化、ICT機器を活用など、生徒が理解しやすい授業づくりを行っている。	B	23	27	6	0
		12 教室及び実習場において、整理整頓(5S)を徹底し、掲示物の精選など学習に集中できる環境を整えている。	B	18	32	6	0
(5)各教科間の連携強化と総合的・創造的な教育の実践し、効果的な学校PRを行う	○各学科間の連携強化 ○総合選択 ○習熟度授業・少人数授業 ○ものづくり教育 ○学校の魅力や特色、諸活動の様子を情報発信 ○地域産業との連携	13 水産、農業・福祉、商業の各学科間で情報を共有し、学科の枠を超えた「総合的・創造的な教育」に取り組んでいる	B	14	35	7	0
		14 専門教育を通じ、グローバルな人材を育てるための特色ある教育実践をおこなっている。	B	23	29	4	0
		15 本校の魅力(専門性、資格取得、活動成果等)を、地域や中学生に向けて積極的かつ効果的に発信している。	A	29	25	2	0
(6)社会や環境の変化に柔軟に対応したキャリア教育と安全教育に取り組む	○主体性、自立性、自治意識の向上、自己肯定感の高揚 ○人権教育の充実とライフスキル教育の推進 ○安全・安心の徹底 ○自律的な進路選択	16 生徒が主体的に進路選択ができるような丁寧な支援及び相談を行っている	B	26	30	0	0
		17 資格取得(ものづくりの技術等)に向けた支援を通して、生徒の進路実現に向けた意欲を高めている	B	26	29	1	0
		18 学校行事、生徒会活動、部活動等を通して、主体性や協働して課題解決する力を育む場を創出している	B	27	28	1	0
		19 学校全体での教育活動を通して、「人としての生き方・在り方」の指導の充実が図られている	B	19	34	3	0
		20 実習、実験、部活動等における安全管理を徹底し、生徒が安心して学べる環境を整備が行われている	A	28	27	1	0
(7)PTA・同窓会・地域社会と連携し、地域に信頼される学校づくりを推進	○家庭・地域と連携した取組の強化 ○地域産業を活用した専門教育 ○地域貢献活動の推進	21 各学科の特色(水産、農業、福祉、商業)を活かし、地域産業や関係機関と連携した実習や外部講師の活用などを積極的に行っている	A	38	16	2	0
		22 地域から「安全・安心で信頼される学校」として認められるよう、日々の教育活動に取り組んでいる	A	33	23	0	0
(8)働き方改革	○3軸・6視点の取組の推進	23 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができている	B	25	27	3	0
		24 個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができている	B	14	23	14	4
		25 一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができている	B	11	40	3	1
		26 より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している	B	10	32	10	3
		27 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている	B	16	29	8	2
		28 積極的な年休取得や余暇を利用した心身のリフレッシュを図る	B	15	27	10	3